



土浦市では、市民と行政が一体となった協働のまちづくりの一環として、市長が市民の皆さんから市に対する意見やアイデアなどを直接聴く場を設け、市政運営の参考にしています。

今年度は、社会で働く若い世代を対象に、土浦商工会議所青年部の皆さんの協力を得て、座談会形式の「市民と市長のまちかどトーク」を開催しました。会場では「土浦市の活力と賑わいあるまちづくりの推進」をテーマに、活発な意見交換が行われました。若さと情熱・そして広い視野をもった参加者の皆さんからいただいたさまざまなご意見をご紹介します。

問広報広聴課(☎826-1111 内線2376)



「土浦市の活力と賑わいあるまちづくりの推進」

について自由に語り合っていました

市長発言

青年部発言

テーマにある「活力と賑わい」ですが、数字として直接表れるものではないので難しい問題ですね。「活力と賑わい」をもたらすためには何が必要なのか、市との間で見解を統一していくことがまず必要だと考えます。一例を挙げるならば、人口を増加させることでしょうか。

全国的な人口減のなか、人口を増やすのに最も大切なのは、土浦市に住みたいと思えるような「安心・安全のまち」をつくっていくことだと思っています。防犯・防災はもちろん、病院・学校・企業などの環境は整ってきていますので、後はそれをどのように活用するかが課題だと考えています。

また、住んでいるという意味での「常住人口」の増加はもちろん大切ですが、土浦市に観光や行楽で訪れる、いわゆる「交流人口」の増加にも力を入れていきたいと考えています。

現在の土浦に活力や賑わいが無いわけではないと感じます。更なる賑わいの創出のためには、まちのことをしっかりと考える地域の仲間づくりが必要ではないでしょうか。地域のお祭りは熱気があり、皆で何かを盛り上げる結びつきは強いと思います。それをより強固にする手助けをしていければ。

土浦市には常磐線の駅が三つもあり、駅前には魅力があります。徒歩圏内に家を建てたい人も多いでしょうが、空き家や空き地の問題もありますので、行政と連携して対策をとっていきたいです。家が建ち人が住めば繋がりが発生し、それが賑わいの創出になります。

空き家問題も全国レベルで問題になっています。防犯、所有者や相続の関係など、さまざまな問題がありますが、空き家対策室も創設しましたので、しっかり取り組んでいきたいです。

老若男女問わない雇用の創出には、子どもたちの教育が大切だと考えます。土浦市では小中一貫によるキャリア教育が始まったばかりですが、例えば農業部門など、地域の特色を活かした専門教育を実施するのはどうでしょうか。

住みやすいまちを考える上でも教育は重要な要素です。土浦市では教育分野に対して手厚い支出を行っており、教育環境については質量ともに重点的に整えていると思います。専門教育については今後の検討事項ですが、一つは理解力を高めるためにITを使ったソフト面での教育を重視しています。

土浦市は市外の観光地にアクセスしやすい立地です。土浦での観光はもちろんですが、他の観光地への結節地として観光客を誘致することもできるのではないのでしょうか。宿泊という点でも宿をとりやすくコストも安いです。

土浦市には地域のお祭りや霞ヶ浦など、素晴らしいものはたくさんあります。まだまだ発信力が弱いと思いますので、市民意識の向上、郷土愛の醸成が必要ではないのでしょうか。

観光資源としては霞ヶ浦がカギだと思っています。きれいになれば素晴らしい観光地になると思いますので、皆さんと協力して浄化運動を進めていければと考えています。

茨城、土浦市は発信力が弱いので、ソーシャルメディアを活用するなど、良いものはどんどん発信して土浦市の魅力を広めていきます。